２．重要な非資金取引

①　政府出資の受入による資産の取得	93,853百万円
②　ファイナンス・リースによる資産の取得	3,080百万円
③　重要な資産除去債務の計上	572百万円
④　国からの物品の譲与	297百万円
⑤　無償譲与による資産の取得	127百万円

３．承継資産の回収による収入

承継資産の回収による収入は、国から承継した医業未収金、破産更生債権等に係る収入であります。

４．承継負債の支払による支出

承継負債の支払による支出は、国から承継した買掛金、未払金、未払消費税等、未払費用及び賞与引当金に係る支出であります。

Ⅴ．行政サービス実施コスト計算書

国からの出向職員に係る引当外退職給付増加見積額は、２百万円であります。

Ⅵ．退職給付引当金

１．退職給付債務に関する事項

区　　分	平成23年３月31日現在
退職給付債務(A)	△　15百万円
未認識数理計算上の差異(B)	0百万円
退職給付引当金(C)＝(A)＋(B)	△　15百万円

２．退職給付費用に関する事項

区　　分	平成23年３月31日現在
勤務費用	0百万円
利息費用	0百万円
数理計算上の差異の費用処理額	15百万円
運営費交付金で財源措置された費用	553百万円
退職給付費用	568百万円

(注)　上記退職給付費用以外に共済組合負担金の退職給付費用として、754百万円を計上しております。

３．退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

区　　分	平成23年３月31日現在
割引率	1.2%
退職給付見込額の期間配分方法	期間定額基準
数理計算上の差異の処理年数	発生事業年度一括費用処理

Ⅶ．固定資産の減損関係

１．減損の兆候が認められた固定資産

⑴　使用しないという決定を行った固定資産の用途、種類、場所等の概要

用途　研究研修棟２棟
場所　千葉県柏市
種類　建物

⑵　使用しなくなる日

平成23年４月末日及び平成24年３月末日を予定しております。

⑶　使用しないという決定を行った経緯及び理由

当該資産の老朽化により建替えの意思決定を行ったため、取壊し工事着工以降は使用しないことが決定いたしました。

⑷　将来の使用しなくなる日における帳簿価額、回収可能サービス価額及び減損額の見込額

将来の使用しなくなる日における帳簿価額の見込額	56百万円
回収可能サービス価額の見込額	0百万円
減損額の見込額	56百万円

Ⅷ．資産除去債務

１．資産除去債務の概要

当センターは、所有する建物の解体時におけるアスベストの除去費用及び所有する医療用器械備品の処分時におけるセシウムの除去費用につき資産除去債務を計上しております。

２．資産除去債務の金額の算定方法

資産除去債務の見積もりにあたり、取得時からの使用見込期間を有形固定資産の耐用年数を参考に10年～39年と見積もっております。割引率は当該機関を勘定し、使用見込期間に見合う国債の利回りを採用しており、0.965%～2.283%となっております。

３．当事業年度における資産除去債務の総額の増減

期首残高	505百万円
有形固定資産の取得に伴う増加額	54百万円
時の経過による調整額	12百万円
資産の除去による履行額	0百万円
期末残高	572百万円

Ⅸ．重要な債務負担行為

翌事業年度以降に支払いを予定している重要な債務負担行為は、以下の通りです。

（単位：百万円）

	契　約　内　容	契約金額	翌事業年度以降の支払金額
1	病棟地下３階既存電源システム見直し工事及び点検一式	178	178
2	病棟・予防棟・研究所・宿舎の電気設備等点検整備	134	134
3	ナースステーションリニューアル他工事等一式	682	682
4	予防・検診研究センターリニューアル他工事	304	304
5	ＩＣＵ増床工事他設備機器等整備	436	436
6	ホルムアルデヒド対策等工事	121	121

Ⅹ．重要な後発事象

該当事項はありません。